

令和元年度第1回北九州市立図書館協議会 会議録

1 議題

(1) 委員紹介

- (2) 議事 ① 図書館について
 ② 図書館年報（令和元年）について

2 開催日時 令和元年8月9日（金） 13時30分～14時40分

3 開催場所 北九州市立子ども図書館大研修室

4 出席者氏名

(1) 委員（会長他9名、欠席委員5名）

北九州市立大学図書館長	中尾 泰士
北九州市学校図書館協議会副会長	中野 まどか
九州国際大学図書館長	松井 貴英
福岡県公立高等学校長協会北九州地区会長	丸内 毅
北九州市PTA協議会副会長	清水 良江
公募委員	嶋村 加代子
公募委員	原田 多賀子
北九州市社会教育委員	宮本 和代
北九州児童文化連盟理事	柴原 佳代子
北九州市婦人団体協議会委員	黒田 美奈子

(2) 事務局（中央図書館長他3名）

中央図書館館長	小坪 正夫
中央図書館庶務課長	山口 奈穂子
中央図書館奉仕課長	福田 淳司
子ども図書館長	古林 節子

5 会議経過（要旨）

(1) 委員紹介

委員紹介後、北九州市立図書館規則第17条に基づき、会長・副会長の選出。

会 長	北九州市立大学図書館長	中尾 泰士
副会長	北九州市学校図書館協議会副会長	中野 まどか

(2) 議事

① 図書館について

資料1 「公共施設マネジメント実行計画」等に基づき、事務局より説明。

(委員)

国際友好記念図書館の蔵書はどうなったのか。保存されているのか。

(事務局)

門司図書館へ一部優先的に配架し、他は蔵書能力に余裕のある小倉南図書館に収蔵している。検索すれば、これらの図書は借りることができる。

今後整備される新門司図書館が開館すれば、これらの蔵書は移される。

(委員)

折尾分館を移転する場合、折尾地区は学校・大学が多く、棲み分けも考えられるのではないかと。大学図書館でも一般公開を行っているところがある。高校も多い折尾地区、折尾駅は、多分にターミナル的な要素も持っている。学生が利用しやすい施設にすると、年配者や小さいお子さんを連れた親子が多少行きづらくなる面も出てくる。

新しい折尾分館は、どこを重点的にターゲットにするのか、時間的な棲み分けも考慮するのか、例えば、午前中は高齢者や親子連れ、夕方は学生、夏休みはやはり学生が多くなるのではないかと。

新しく移転整備するのであれば、地域的な特徴を活かし、大学図書館等との棲み分けを促し、また、できるのであれば、一部雑誌等が充実している大学図書館が一般の方でも利用できることを広報できれば、図書環境が充実している素敵な地区になるのではないかと。

(事務局)

折尾地区総合整備事務所が実施したアンケートでも、希望する施設について、10・20代結果の1～5位に図書館は入っていない。充実した大学図書館の影響があるのかもしれない。逆に70代からは、図書館を希望していることがわかっている。

折尾分館の整備内容をどうするかは、協議会の意見も伺いながら、引き続き検討して行きたい。

(委員)

移転後の折尾分館の面積は？

(事務局)

オリオンプラザ内にある現折尾分館の面積は400㎡で、今の面積よりも狭くならないように努めたいと考えている。

(委員)

分館閉館に伴いボランティアの配置先も考慮したと言われたが、現状は。

(事務局)

閉館した戸畑分館や八幡東分館では、八幡図書館でもボランティアを行っている団体は、引き続き八幡図書館で行えるよう、また、新たに戸畑図書館でボランティアを行えるように、意向に沿う調整に努めた。

(委員)

折角のチームや仲間が分解しないように、新しい場所で、新しい人も加わり活性化し、更に良いものになることを願う。

② 図書館年報（令和元年）について

資料2 「図書館年報（令和元年）」に基づき、事務局より説明。

(委員)

広域貸出について、下関市でも北九州市の図書館カードがそのまま使えるか？

(事務局)

そうではなく、北九州市民であることがわかる証明書等を提示すれば、下関市の図書館カードを発行してもらえる。

(委員)

中央図書館の除籍数が突出して多い理由は。

(事務局)

中央図書館は曾根分館と勝山分館を管轄していたが、曾根分館を小倉南図書館管轄へ、勝山分館を子ども図書館管轄へ移管するのに併せて、蔵書の管理換えをした。単なる除籍ではなく、管理換除籍である。

(委員)

図書の受入種類別のうち「その他」は、どんなものか？

(事務局)

管理換除籍に伴う受入がある。

(委員)

受入と除籍の冊数に差があるのは？

(事務局)

閉館された図書館からの蔵書も含まれているため、差が生じている。

(注：受入・除籍は、現存図書館ベースで記載されている)

(委員)

戸畑区の一人当たりの貸出冊数が突出している理由は？

(事務局)

戸畑区自体読書が盛んということもあるかもしれないが、隣接する小倉北区、若松区、八幡東区から戸畑図書館が利用しやすく、他区からの来館者が多いことも一因である。

(委員)

(戸畑) 図書館の頑張りよりも、他区からの利用が多いことが理由か。

(事務局)

元々、戸畑区民の利用も多いが、利用しやすいという立地条件も加味されている。

(委員)

アクセスが良いことは、利用につながりやすい。私も戸畑図書館を利用することがある。その図書館にしかない郷土資料等は、そこに行かないと借りられない。どこでも借りられることも大切なこと。

(委員)

門司港複合施設移転後、門司図書館もアクセスが良くなりそうだ。

(委員)

私も自動車で移動する。戸畑図書館は無料だが、八幡図書館・小倉南図書館は駐車場が有料で少し足が遠のく。

(事務局)

八幡図書館駐車場が無料の頃は、他施設利用者による長時間利用が多く、図書館利用者が適正に利用できなかった。有料化しても1時間以内は無料で利用できるなので、回転が良くなり、利用しやすくなったという声を多くいただいている。戸畑図書館の駐車場も有料化を希望する声もある。

地区館は車の来館が多いが、戸畑図書館は、歩き・自転車・公共交通機関等の割合が他館に比べて多い。色々なところから来やすい図書館である。

(委員)

市民センターのひまわり文庫の貸出が若干減っていると言われたが、本を借りなくても休憩時間等の利用度は高い。小さいお子さん連れでも、車のある方は遠方まで出向き、本を借りて帰る。そうでない方もいる。市民センターを利用される方、限られるかもしれないがお子さんへ読み聞かせをする場合など、ひまわり文庫は大変助かるし、役に立っている。時々、本の入れ替えをお願いしたい。

(委員)

折角の子ども図書館のアピールが少し足りないのではないかと。SNS の情報発信も非常に有効、使わない手はない。折角あるホワイトハウスと同じ地球儀などをもっとアピールすべきではないか。

(委員)

学校図書館の限られた蔵書の中で「調べ学習」は難しい面がある。情報もどんどん変わり、古くなった資料は使えない場面も多い。公共図書館の力を大変利用させてもらっている。宅配便を利用する貸借制度は役に立つが、一度に借りることができるのが3セットに限られている。

(事務局)

学校団体貸出制度は、業者が学校まで運び、終われば業者が回収する制度で、小学校利用は皆さんが思う以上にある。特別支援学校でも始まった。更に充実しなければならないと思っているが、始めた頃に比べて非常に増えている。まだまだと言われる学校は利用している学校と思うが、まだ知らない学校もあり、二極化している。様々な対応ができるように努力をして行きたい。

(委員)

ボランティアが活発に活動している学校は、色々な活動にも手が届くので、借りやすい。そうでない学校は手が届かない現実があるのかな。

(事務局)

実際は授業で使うので、学校の先生の意見を集約した司書教諭や学校図書館担当が実際の活動を行っている。しかし、いま言われたように活発な学校は、学校図書館司書が積極的に先生へコマーシャルして、一緒になって借りたり、図書館へ見に来てくれる。どの学校でも活用できるように PR して行きたい。

(委員)

司書の力も大きい。司書がちょっと力を入れるだけで、子ども達の借り入れが増えたり、ボランティアが増えたりする。私の知っている学校司書も、ハロウィンとか何の時期とか、

人権の本を勧めたり、司書の力は本当に大きい。学校図書は、子ども達に最も身近なもの。
そこをもっと豊かに、人的な面でも、是非進めていただきたい。